

関係各位

第 R2 回日ク発第 079 号
2020 年 6 月 26 日
(一社) 日本クレール射撃協会
広報委員会
(※ 公印省略)

東京 2020 オリンピック競技大会日本代表選手の推薦について

今般、東京 2020 オリンピック競技大会の開催を延期する決定がなされ、開催日程を 2021 年 7 月 23 日 (金) ~ 8 月 8 日 (日) とする決定がなされましたが、これに伴い、当協会は 6 月 26 日の理事会において、既にクレール射撃競技日本代表として JOC に推薦を決定した 4 選手について、これを変更せず推薦を維持 (追認) する旨の決定をいたしましたので、ご連絡いたします。

関係各位の皆様には、引き続きご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。

- ・トラップ種目女子 中山 由起枝 (日立建機)
- ・トラップ種目男子 大山 重隆 (大山商事)
- ・スキート種目女子 石原 奈央子 (古峯神社)
- ・スキート種目男子 井川 寛之 (モダンビル管理)

※追認後の選手コメントは別紙をご参照ください。

以上

第32回オリンピック競技大会（東京2020） クレー射撃日本代表選手 発表資料

2020年6月26日

※正式には日本オリンピック委員会の承認により決定となります

<トラップ種目>

女子 TRAP WOMEN



中山 由起枝 NAKAYAMA Yukie
日立建機

- アジア選手権で3位に入って出場枠を獲得し、5度目の五輪代表を決めた。
- <東京五輪出場枠QPでの出場>

男子 TRAP MEN



大山 重隆 OYAMA Shigetaka
大山商事

- アジア選手権の成績により、初の五輪代表に決定した。
- <開催国枠での出場>

<スキート種目>

女子 SKEET WOMEN



石原 奈央子 ISHIHARA Naoko
古峯神社

- アジア選手権の成績により、2度目の五輪代表に決定した。
- <開催国枠での出場>

男子 SKEET MEN



井川 寛之 IKAWA Hiroyuki
モダンビル管理

- アジア選手権の成績により、初の五輪代表に決定した。
- <開催国枠での出場>

代表選考基準では、ワールドカップ（W杯）などで東京五輪出場枠を獲得した選手がいない場合は開催国枠による出場となるため、アジア選手権（QAT）の成績上位者が代表権を得ることになっていた。

◆6月26日（金）理事会にて内定追認を承認

4名共同コメント

まず新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、困難な環境におられます皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、医療関係者や人々の生活環境の維持に従事されている皆さまに心から敬意を表します。

そしてこの状況の中、私達4人は東京オリンピックの日本代表内定の追認をいただけたことに、改めて感謝の気持ちと身の引き締まる思いでおります。

1年後となった2021年の東京オリンピックで、私達は世界で一緒に戦ってきた各国の仲間（選手）たちとの再会を果たし、笑顔で迎えられられることができるよう、一日一日を大切に自身が「今」できることをしていきたいと思っています。先行き不透明な状況が続きますが、皆さまも健康第一にお過ごしください。

(一社)日本クレー射撃協会所属

2020年6月26日

スキート種目 井川 寛之・石原 奈央子

トラップ種目 大山 重隆・中山 由起枝